

一 **雇用吸収事業開発** <深刻不況下での唯一公正な救済法(その2)>一

米に発する世界不況深刻化、今回は簡単に回復しない。そこで**雇用生活保障が最優先課題**。最低需要回転経済では必ず**雇用圧縮**が不可避。真の実がなる雇用吸収事業を皆で考える。

**[1]: 既成認識を兎も角一度忘れろ!!、今回ばかりは歴史的な大不況!!**

9月米大手リーマン証券破綻を機に世界不況が急速に拡大、今米資本主義象徴のビッグ3 GM等が明日の運転資金に困る惨状、昨日議会は公費支援反対決議、一つに旧態權威に胡坐をかいた慣性的経営に見込みなしの冷徹判断も、今の日本にこれできるかな!!?。

(1)大分市では失業救済としての就業等の公支援を発動、日銀も各種金融支援策、国会も各種失業不況対策でてんでこ舞い。だが総じて鍋皿、調理道具は用意されるが**肝心の食材その物が一向に見えないでないか!**、需要急減で今経営者は雇用圧縮で必死だ!!。

(2)公共事業として従来慣性的な道路建設等に金を注ぐは将来を一層危うくする。なぜなら**資源土地**を莫大に潰し、かつ**公的負債**を加速、二重に将来苦境を膨張させる。財政赤字なのに全く実質意味のない改修土木も堂々なされる、**もっと実の成る事をなぜしない?**

(3)他方で富裕層は資金を危うい金融から引き上げ、事実上のタンス預金、金庫だけが良く売れると言う。ゴールド金換も本質は同じ死んだ**タンス預金**。他方で巷に家なし増大。他方マンション等住宅販売は落ち込み、**空き家も増大中だ。資産は余ってるのだ!**

**[2]: 既成固定観念で”経済政治”を遣れば、大失業-公負債増大で社会混乱が不可避!**

(1)今日の大不況は2,3年では終わらない。腰を据えた認識と抜本策が最後に笑う?!。

(2)生きる為の**生活基礎原点**を考えよう!。{食糧、住居、電力エネルギー}の3本柱だ!!!、

(3)質を言わねば住居供給は既に十分にアルだろう。あり過ぎるだろう。社宅、公営住宅、民間賃貸等への公民間共同的支援でまず**家なし恐怖**を救済する。詳細は専門家相談、

(4)気候変動危機を長期勘案すると最優先は**食糧自給**。日本には遊休田畑多数が現存し、かつ農業従事者は高齢化が進行、詳細は農業経済学者等と相談だがここへ**民族大移動**、既成農家にすれば新規参入増大は収入減に働くだろうが世界危機である事を認識。

(5)企業減産に伴う労働力過剰給与減休暇増加を日曜農家で補填する共同戦略、

(6)**新エネルギー技術開発**: 圧倒的高効率の鉄道、路面電車の優遇拡充策、地産地消化。

**B波発電法**、誘電体材料あらば究極技術、何故無視するのか!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!、政府と野党と電機機器メーカーと投資先なし投資家に問う!

(7)**就業機会共有制度**と週休三日(半年休暇)制度は「金と見栄は」減るが時間が持てる。それは使い方工夫次第。**最小回転経済**は気候変動危機不可逆点回避に必須な事です。

(8)公務高効率化と税制の抜本転換、民間が駄目なのが現不況、**政府大局策**しかない。政府も企業も勤労国民全てが兎も角今回だけは頭の切り替えだけが救済です。